

これがオススメ! 読み聞かせ本

全学年向き

学習指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさんの本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さて実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせができるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

ポストが筒型から箱型になったのはいつの頃からでしょうか。私の机の上には、何十年も前から筒型のポストの貯金箱があります。ポストといえばあの型が浮かんできます。この本のポストも筒型でした。

小さい頃、「あのポストの中はどうなってるのかな」と想像を巡らせたことを思い出します。それと歯医者さんの思い出。痛くて狭くて行きたくない場所でした。今では、歯医者さんはむし歯予防などソフトな雰囲気になり、行きやすい病院になっています。そんなノスタルジアをもつてこの絵本を読み進めました。

途中で主人公が、亡くなったお父さんの後ろ姿を見つけて、「お父さん！」と大きな声で呼んだ時、読み手の私が思わず涙声になり、声を平静に立て直す



赤いポストはいしやさん

薫くみこ／作 黒井健／絵
(ポプラ社)

のに苦労してしまいました。この場面では、子どもたちも主人公の気持ちを感じ取ったように、息をつめているのがわかりました。そして、黒井健さんの描く黄金色の美しい夕焼け空が、より一層情緒を引き出します。

読み語った後数人に、印象に残った場面を聞いてみました。やはりお父さんが登場する秋の夕焼けの場面が多かったのですが、歯医者さんの待合室でお母さんの帰りを待つ女の子や、森の動物に手紙を書いてもらうファンタジックな場面も挙がりました。

5年生の我がクラスで読みましたが、学年が違っても聞き手一人ひとりに自分の経験や思いを呼び起こさせる温かい絵本だと思いました。